

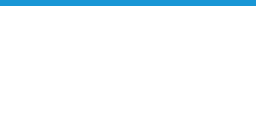
災害なんかに負けない地域をつくろう!

命の絆は、笑顔であいさつ助け合い

熱田区船方学区 震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の避難想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、船方学区の住民が、お住いの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。
この震災避難行動マップをもとに「いざ」というときどんな行動をとればよいか日ごろから考えておきましょう。

町内会の一時集合場所



地域の避難先の例

- 延焼拡大した火災から避難する場合 → 指定緊急避難場所へ
- 津波から避難する場合 → 想定浸水区域外または高台へ
→ 高台等へ避難する余裕がなければ津波避難ビルへ
- 家屋の倒壊またはそのおそれがある場合 → 指定避難所へ

※自宅に被害が少ない場合はなるべく自宅で生活しましょう。(裏面参照)

指定避難所一覧

- ① 名古屋学院大学 白鳥学舎
- ② 熱田生涯学習センター
- ③ 日比野中学校南校舎
- ④ 工業研究所
- ⑤ 船方小学校
- ⑥ 船方コミュニティセンター

津波避難ビル一覧

- A 船方小学校(北校舎棟)
- B 日比野中学校南校舎(校舎棟)
- C 二番荘4号棟
- D 船方荘
- E 工業研究所
- F 名古屋学院大学白鳥学舎
- G 喜多村工業株式会社 松風荘
- H 特別養護老人ホーム 喜多乃郷
- I 白鳥橋ポンプ所

役に立つもの!

1. コンビニエンスストアなど

「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となった時、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗もあります。トイレや避難スペースの提供など災害時可能な範囲で協力が得られます。

2. 地域防災協力事業所

災害時に地域に対して協力してくれる事業所です。

3. 公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時に優先的につながり、状況に応じて無料になります。

4. 災害救援自動販売機

対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

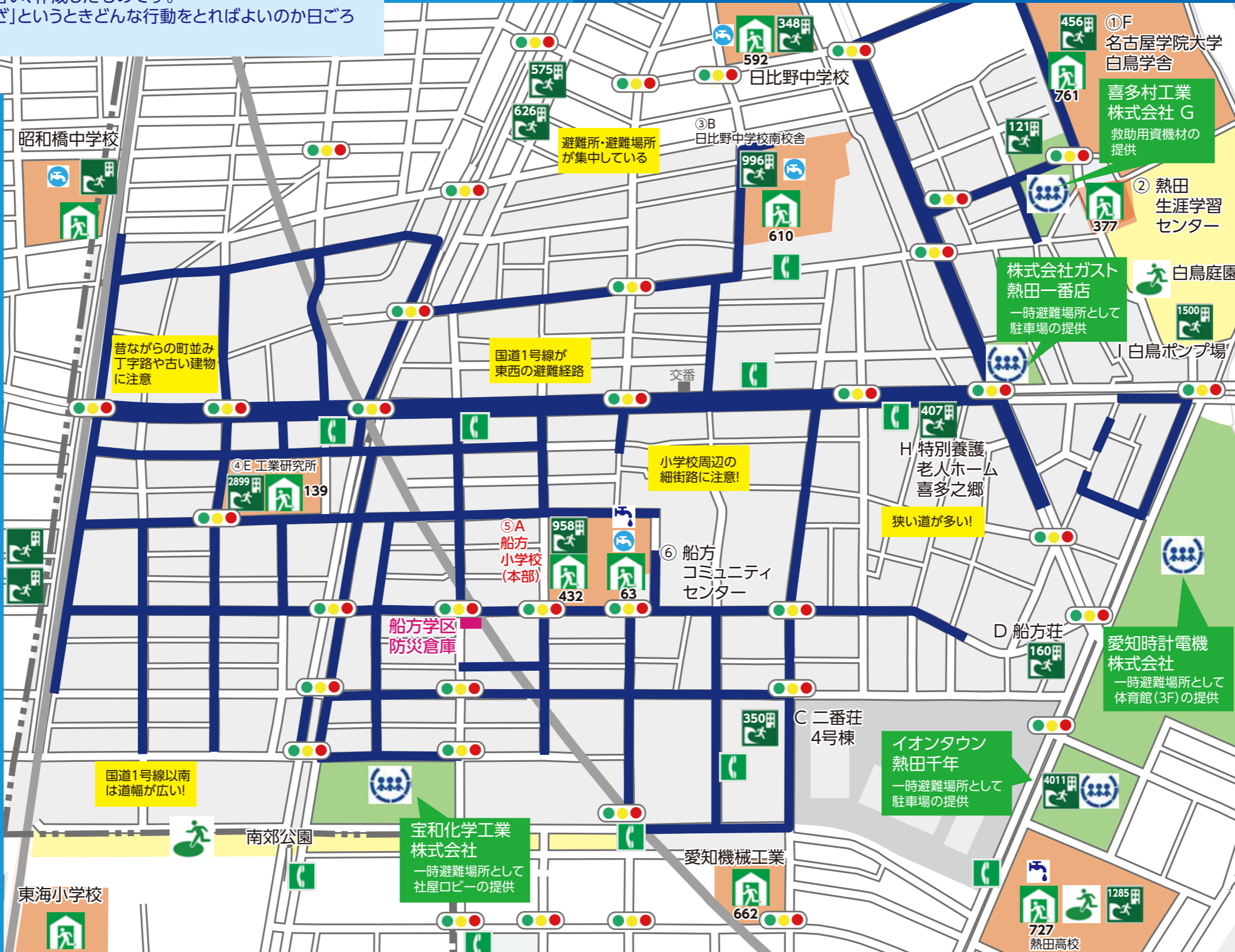
5. 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



6. 津波避難ビル

大津波警報が発表されたとき、高台への避難が困難か、避難する時間がないときなどに一時的に避難する施設です。



気を付けて!

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり

2. 古いブロック塀

大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない

3. 自動販売機

大きな地震では倒れる可能性あり

4. 隆起したマンホール

液状化によりマンホールがせり出してくる可能性あり
車両走行中は特に注意

5. 狭い道

近くの家が倒壊したとき、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり



6. 電線

切れた電線は停電時でも感電の危険があり、絶対に近づかない

【凡例】

- 指定避難所 *数値は避難者数
- 津波避難ビル *数値は避難者数
- 一時・広域避難場所
- 地域防災協力事業者
- 避難経路
- 公衆電話
- 地下式給水栓
- 応急給水栓

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平28情使、第307-GISMAP37608号)

制作:船方学区

協力:熱田区役所、熱田消防署
あつた災害ボランティアネットワーク
コンティニュー株式会社 大山裕之
名古屋工業大学大学院教授 秀島栄三

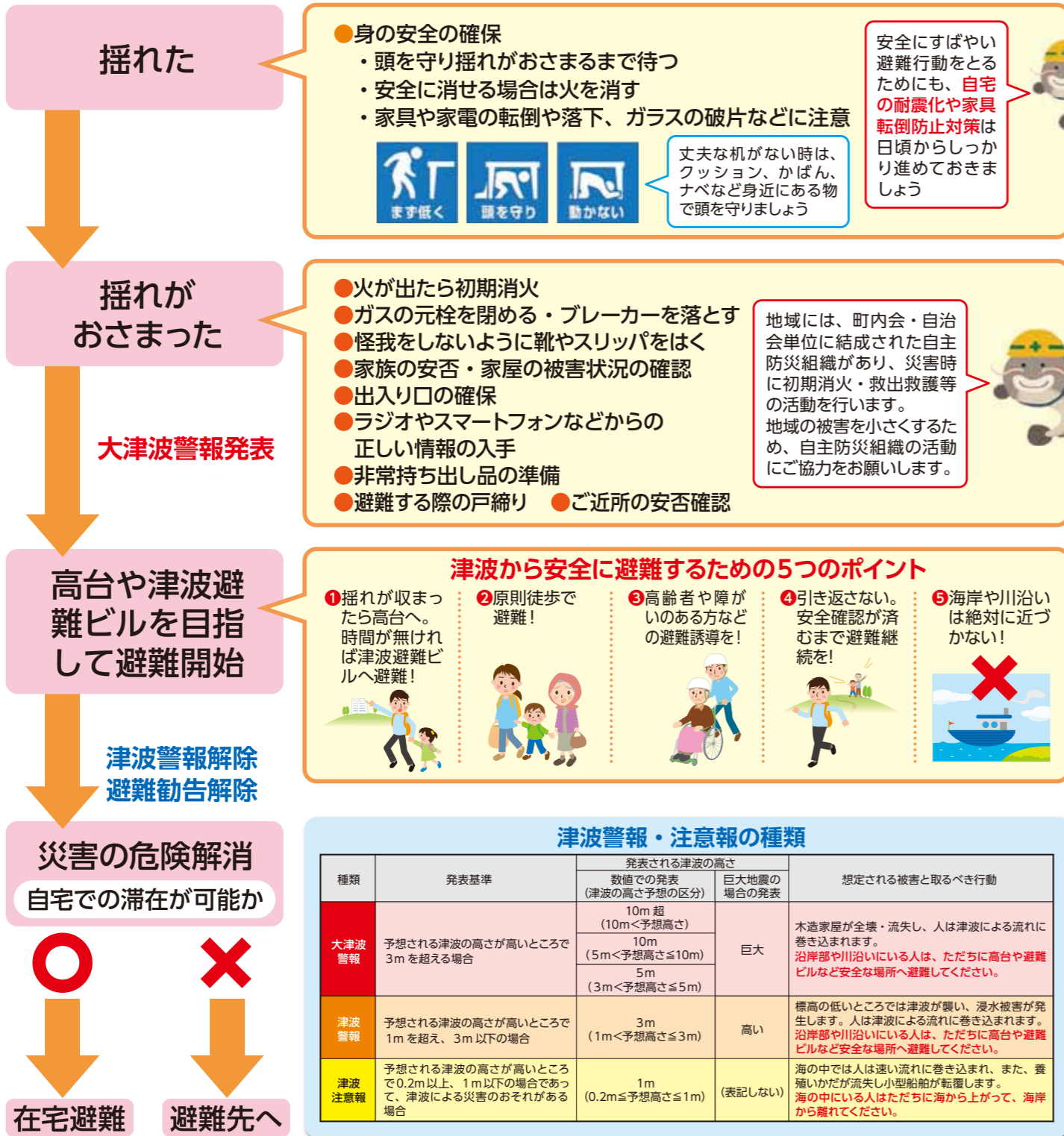
このマップには再生紙を使用しています。

熱田区船方学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度6強**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。また、津波が他の地区よりも早く来ます。名古屋港への津波(30cm)の到達時間は96分と予測され、当地区では**2時間以内に浸水**が始まります。この時間を最大限に使い、川沿いから遠ざかるようにして高台が津波避難ビルへ避難しましょう。

また、**液状化現象**が起きる可能性が高い箇所がいくつかあります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応



在宅避難の目安

避難所では、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は下記の点に留意して自宅で避難生活を続ける「在宅避難」を考えましょう。

- 家が倒壊した、または余震が来たら家が倒壊しそう
- 家中に物が散乱して動くと危険
- 火事や津波の危険が迫っている
- 自分で身体を動かしたり、物事を判断することが難しい
高齢者や障がい者がいて、家族だけでは対応できない
- 自宅のライフラインが止まり日常生活が送れない
- 家にいると、とにかく不安で仕方がない



プライバシーもなく悲惨な熊本地震の避難所の様子

一人で逃げるのが難しい方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げるのが難しい方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

(例えばこんな方)

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

移動が難しい方

(例えばこんな方)

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

避難の時の豆知識 非常持ち出し袋を準備しましょう!

避難する時に持っていくもの

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手
- マスク

照明等

- 懐中電灯(電池含む)
- マッチ・ライター

食器類

- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ

衣料品

- 衣類(着替え)
- タオル(大小2種類)

貴重品

- 現金(小銭も必要)
- 預(貯)金通帳の写し
- 健康保険証・免許証の写し
- カード類
- 認印・印鑑など

医療用品

- 三角せん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう
- 消毒薬
- ウェットティッシュ(ティッシュ)
- お薬手帳の写し

便利用品

- 筆記用具
- 新聞紙
- 携帯用トイレ
- ゴミ袋
- キッチン用ラップ
- 使い捨てカイロ
- 雨具
- 手動携帯電話充電器



ゴミ袋をカッパに
新聞を体にまいて防寒

日頃から水や食料を準備しておきましょう。めがね・入れ歯・持病の薬も忘れずに!



ラップをお皿に置いて節水

